

2015年9月ベトナム経済事情

2015年10月
在ベトナム日本大使館経済班

◆2015年1～9月期の経済成長率（速報値）は6.50%

越統計総局が発表した速報値によると、2015年1～9月期の経済成長率は6.50%となり、1～9月期としては2010年以降で最も高い成長率を記録した。製造業（10.15%増）、建設業（9.00%増）が成長を牽引する形となった。他方、農林水産業（2.08%増）やホテル・レストラン業（2.90%増）の成長率は伸び悩んだ。また、四半期別では第1四半期が6.12%、第2四半期が6.47%、第3四半期が6.81%。

過去5年間の1～9月期経済成長率（%）

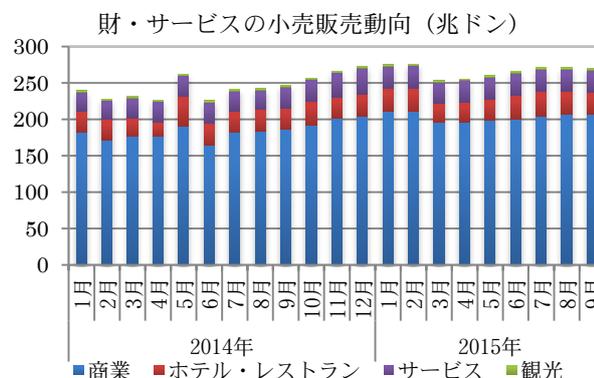
	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年
合計	6.52	5.76	4.73	5.14	5.62	6.50
農林水産業	2.89	2.39	2.48	2.39	3.00	2.08
鉱工業・建設業	7.29	6.62	4.38	5.20	6.42	9.57
鉱業	-6.92	0.53	4.91	0.10	0.61	8.15
製造業	8.29	7.64	3.80	6.80	8.57	10.15
建設業	10.25	4.91	1.98	5.34	6.30	9.00
サービス業	7.24	6.24	6.86	6.25	5.99	6.17
小売り	7.89	6.65	6.50	5.92	6.02	8.40
ホテル・レストラン業	8.28	6.38	6.87	9.66	7.34	3.83
不動産業	2.52	2.39	-1.33	1.91	2.93	2.90

（データ：越統計総局）

1. 消費・貿易・投資等の動向

(1) 財・サービスの小売販売の動向

- 2015年1～9月期の財・サービスの小売販売額は2375兆ドン（暫定値，以下同様）。前年同期比の名目伸び率は9.8%増，物価上昇分を除いた実質伸び率は8.3%増となった。セクター別の動向は下表の通り。



（データ：越統計総局，注：最新月は暫定値。）

2015 年上半期の財・サービスの販売動向（セクター別）

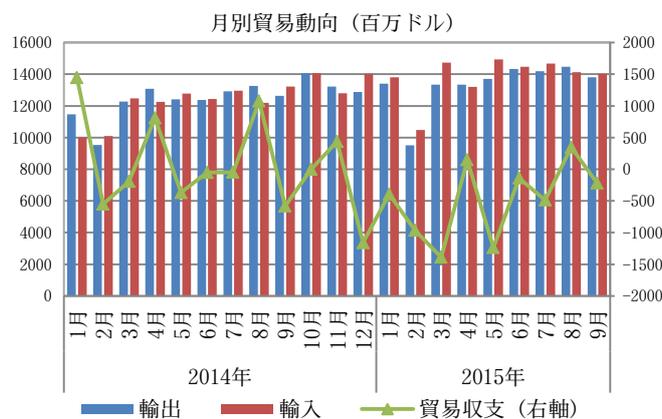
産業	販売額 (兆ドン)	構成比 (%)	対前年同期 比 (名目)
商業	1802.9	75.9	10.6%
ホテル・レストラン	276.9	11.7	6.5%
観光	26.6	0.9	0.1%
その他サービス	298.8	11.5	9.0%

(データ：越統計総局)

(2) 輸出入の動向

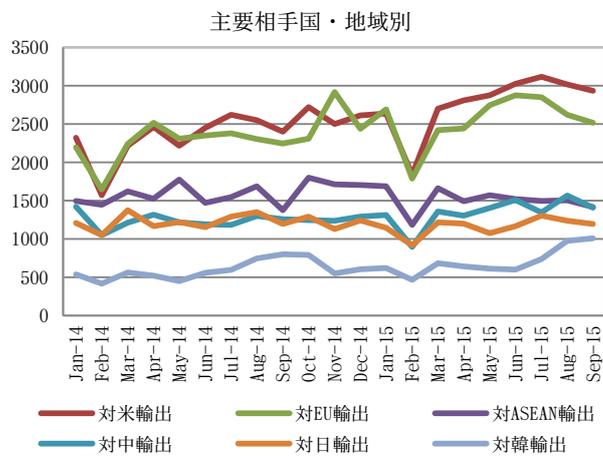
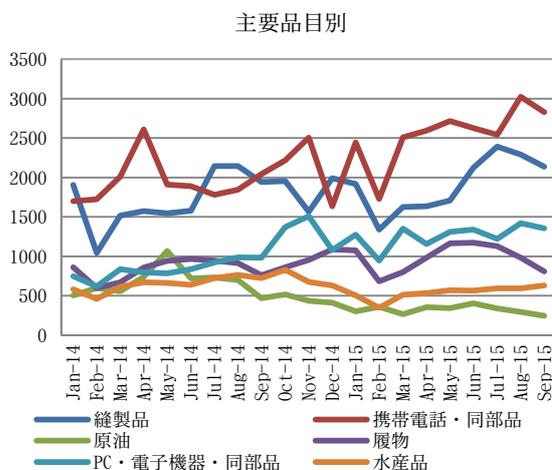
① 輸出

- 外国企業を中心とした携帯電話・同部品や PC・電子機器・同部品の輸出額が引き続き増加している一方、国際的な価格が低水準で推移する原油の輸出額（前年同期比 48.4%減）が落ち込んだ。さらに、水産品（同 16.5%減）、コーヒー（同 31.9%減）、コメ（同 15.0%減）等の一次農水産品の輸出額も落ち込んでいる。
- 2015 年 1～9 月期の輸出額は、前年同期比 9.2%増の 1202 億ドル。主要輸出品目は、①携帯電話・同部品 230 億ドル（前年同期比 33.2%増）、②縫製品 170 億ドル（同 10.0%増）、③PC・電子機器・同部品 113 億ドル（同 51.5%増）、④履物 88 億ドル（同 17.7%増）、⑤機械設備・同部品 59 億ドル（同 10.3%増）。
- 主要品目別、主要相手国・地域別の動向は下図のとおり。



(データ：越税関総局)

輸出額の推移 (百万ドル)



(データ：越税関総局)

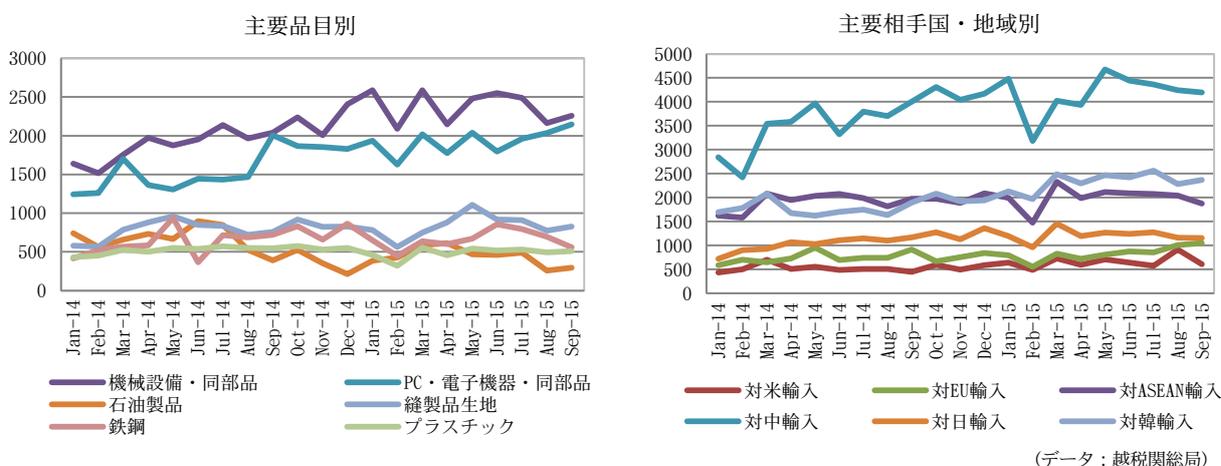
② 輸入

- 内需向けの消費財輸入ではなく、外国企業による機械設備の輸入が増加した。
- 2015年1～9月期の輸入額は、前年同期比15.6%増の1242億ドル。主要輸入品目は、①機械設備・同部品208億ドル（前年同期比29.3%増）、②PC・電子機器・同部品173億ドル（同31.3%増）、③携帯電話・同部品81億ドル（同33.7%増）、④縫製品原材料75億ドル（同-1.8%減）、⑤鉄鋼57億ドル（同4.8%増）。
- 主要品目別、主要相手国・地域別の動向は下図のとおり。

③ 貿易収支

- 2015年1-9月期の貿易収支は約40億ドルの赤字。

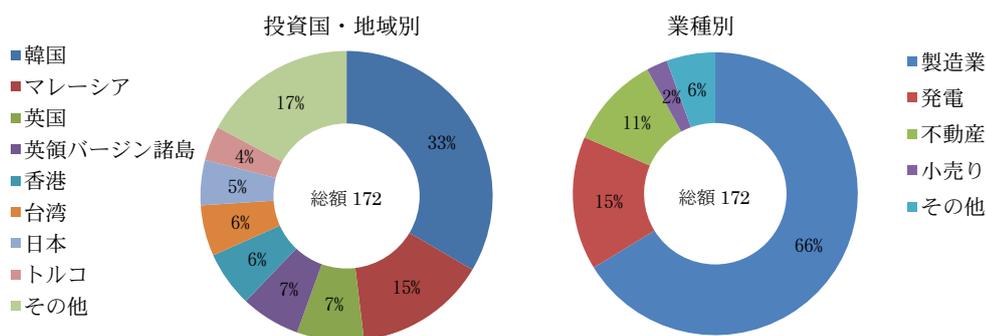
輸入額の推移（百万ドル）



(3) 外国直接投資の動向

- 年初から9月20日時点までの外国直接投資認可額は、前年同期比53.4%増の171.6億ドル。新規投資（1432件）は同44.5%増の110.4億ドル、追加投資（461件）は同72.6%増の61.2億ドル。なお、外国直接投資実行額は前年同期比8.4%増の96.5億ドル。
- 日本からの対越直接投資は新規・追加の合計で各国・地域中第7番目の8.6億ドル。
- 年初から9月20日時点までの大型案件としては、①液晶ディスプレイ工場（バクザン省）への30億ドルの追加投資（韓国）、②火力発電（チャビン省）への24億ドルの新規投資（マレーシア）、③不動産（ホーチミン市）への12億ドルの新規投資（英国）④繊維工場（ドンナイ省）への6億ドルの新規投資（トルコ）等がある。

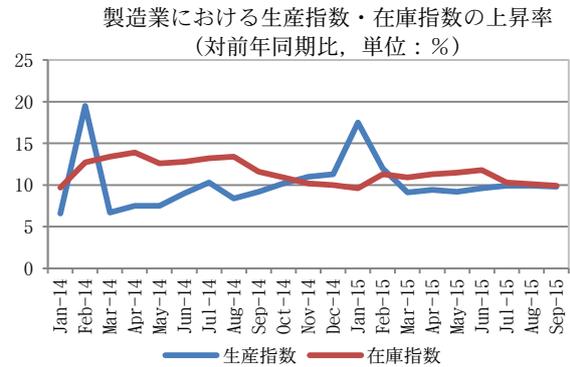
2015年1-9か月のFDI認可額（新規及び追加、億ドル）



2. 産業活動

(1) 鉱工業生産・在庫

- 2015年1～9月期の鉱工業生産指数は、前年同期比9.8%増。産業別では、鉱業が前年同期比8.2%増、製造業が同10.2%増、電力が同11.4%増、水・廃棄物処理が同7.3%増。
- 製造業における生産指数及び在庫指数の上昇率の変化は右図のとおり。

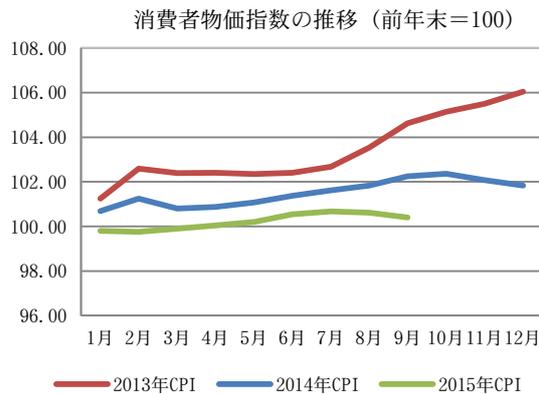


(データ: 越統計総局)

3. 物価と金融情勢

(1) 消費者物価指数

- 2015年9月の消費者物価指数(CPI)は、前月比0.21%減、2014年末比で0.40%増、前年同期比0.74%増となった。国際的な原油価格の低迷によるエネルギーコストの低下、徹底した為替管理(米ドル/ベトナムドン)による輸入コストの抑制等を主因として、物価上昇は抑制されている。



(データ: 越統計総局)

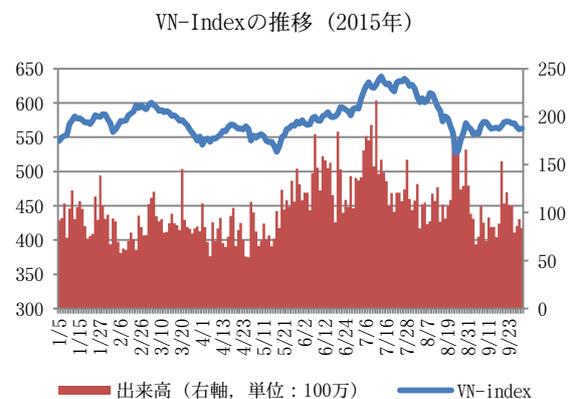
(2) 金融情勢

① 金利

- 2015年9月末時点の政策金利は、リファイナンスレート: 6.5%, ディスカウントレート: 4.5%。

② 証券市場

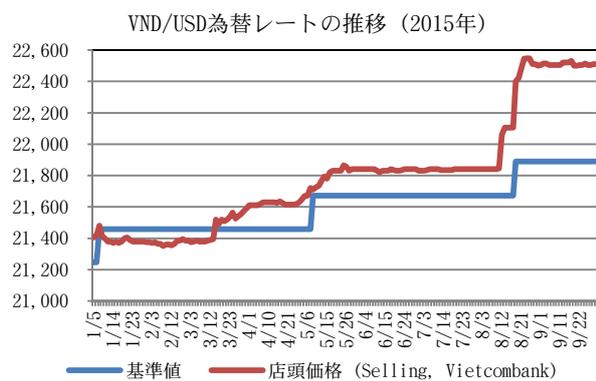
- ホーチミン証券取引所のVN-Indexは8月24日、世界的な株安を受け年初来最安の527ポイントを記録したが、その後は550-600ポイント前後で推移。



(データ: ホーチミン証券取引所)

③ 為替相場

- 年初から3回にわたり対米ドルの基準レートの変更，取引バンドの拡大を行い，年初と比較して実質5%の切下げを行った。2015年10月現在，基準レートは1ドル当たり21,890ドン，取引バンドは±3%，銀行提示レートは22,300-22,500で推移。



(データ：国家銀行, Vietcombank)